



## BCAOアワード2012審査結果

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)は、日本の事業継続(BC)の普及に資するため、その普及及び実践に貢献した個人及び団体を表彰する「BCAO アワード 2012」の受賞者を、この度、下記のとおり決定いたしました。本アワードは、2006年度に創設され、今回が7回目の表彰となります。

5月30日(木)午後、東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて一般公開で表彰式を行い、多くの方に参考にしていただけるよう、大賞及び各賞の受賞者で表彰式にご参加いただける方から、それぞれの内容についてご発表いただく予定です。

### 受賞者

	タイトル	選考にあたり重視させていただいた点
大賞	公益財団法人岡山県産業振興財団殿の『『晴れの国おかやま』における県内中小企業へのBCP普及の取り組み』	これまで災害が少ないと見なされていた岡山県において、東日本大震災及び南海トラフ地震の被害想定を契機に岡山県内でのBCP普及を平成24年度から新たに取り組み、BCP実践セミナーの開催、BCP策定支援・人材育成研修を行い、さらに地域連携BCPへの展開を図ったこと。BCP策定支援した企業5社がその内容を公表するに至ったこと。さらに平成25年度から岡山県としてBCを推進するための体制を整備し、かつBCP融資資金の創設に至ったこと。これらの取り組みについて積極的に広報し、地域でのBCへの理解を深めたこと。
優秀実践賞	積水ホームテクノ株式会社殿の「東日本大震災の体験を基にしたBCMS開発プロセス」	平成22年度からリスクマネジメントに取り組んでいる中で、東日本大震災によりサプライヤーからの供給停止に直面し、その実体験をもとにBIAから始めて自社のBCPを構築し、その過程で自社にとってのBCPはどうあるべきか、自社の事業継続にとってのボトルネックは何かを洗い出し、かつ、自社の経営資源が失われた際の代替策を多角的に検討し自社に適したBCPを策定したこと。
優秀実践賞	東洋合成工業株式会社殿の「東日本大震災の対応と経験に基づく全社的な事業継続に対する意識の醸成」	2007年、2008年に発生した事故を契機にリスクマネジメントに取り組み、東日本大震災においては、それまでの取り組みにより大きな混乱を回避し、これらの経験をもとに自社のBCを構築し全社を挙げて取り組んでいること。全社員を対象に定期的なBCMSの理解を社内イントラネットにより実施し、経営会議の場でBCの教育や知識の定着を継続的に行なっていること。労働安全衛生や環境・工場災害への初動対応・経営企画や広報等の取り組みもBCMSに関連づけて行なっていること。これらの自社の取り組みを積極的に情報提供していること。

	タイトル	選考にあたり重視させていただいた点
奨励賞	アイネット株式会社殿の「高齢者を守る緊急通報システムでの BCP 策定と訓練の実践」	会津若松市に本拠を置き、福島県を中心とする地域を営業範囲とする機械警備業を主とする中小企業であり、東日本大震災の経験を整理し、BCP を策定したこと。その過程で自社の主要事業を BIA の観点から見直し、主要事業継続のために災害時に全社員が行うべき事を再検討し、訓練計画を作成し、訓練を実施したこと。一人暮らし高齢者向けの通報システムを運営していることから個人情報保護に考慮した BCP を作成したこと。今後類似の業態の参考となる取り組みになることが期待できること。
奨励賞	一般社団法人東京ビルディング協会中小ビル事業委員会殿の『『中小ビルの災害対応マニュアル』及び『防災ポケットブック』の作成・普及』	テナントが入居している中小ビルを対象とした災害対応マニュアルを作成し、全国の会員約 1,300 社に配布し、幅広く広報していること。この災害対応マニュアルをビルオーナーが自社向けにカスタマイズ出来る形として作成し、実際に中小ビルにおいて活用されていること。防災ポケットブックを作成しこれまでに 16,000 部配布しビルオーナー及び入居テナント企業へ普及していること。このような普及活動を全国に展開することにより、テナントビルにおけるテナント企業とビル事業双方の事業継続を促進する基盤を形成してきており、今後、さらなる普及活動に期待できること。
奨励賞	公益社団法人東三河地域研究センター殿の「三河港明海地区・臨海工業地の立地事業所協働による事業継続の取り組み」	臨海部の防潮堤の外にあり、130 事業所、従業員 13,000 人を擁する中京地区を代表する大規模工業団地において、大規模地震災害時における事業継続性を、立地企業の協働体制で構築すべく平成 19 年度から継続的に取り組んできていること。工業団地内の事業継続の取り組みを業種を越えて、個別企業が共同して積極的に展開し、行政を巻き込む形で高度化を図っていること。活動状況を積極的に公表し、そのことが三河港内の他地区の工業団地にも波及していること。今後さらに地区の事業所が協力体制を構築し、地区単位での事業継続の取り組みの進展が期待できること。

(同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています)

BCAO アワード選考委員会では、2012 年 10 月 22 日から 2013 年 1 月 31 日の募集期間に応募があったものについて、次の観点から厳正なる審査を行いました。

- ・ 標準化・公開や普及、調査研究などの活動や体制整備・人材育成を含めた自らの実践を示すことで BC の普及に向け社会的に最も影響が大きいと判断されたものを「大賞」とする。
- ・ 上記目的に対し、優秀な BCP の策定、BCM の実施に関しては「優秀実践賞」、特に見るべき特徴のあるものを「特別賞」、今後の取り組みに期待できるものを「奨励賞」とする。
- ・ 成果を世に知らしめすことを重視するため、公表履歴の多いものを評価しますが、実践の場合にはこの限りではありません。

この結果、前記のとおり大賞 1 件、優秀実践賞 2 件、奨励賞 3 件が選定されました。

# 表彰式

- ◆ 日 付 : 平成 25 年 5 月 30 日 (木) 13:30~16:00
- ◆ 会 場 : 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 小ホール  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号 TEL 03-3467-7201 (代表)
- ◆ 参加料 : 無料
- ◆ 定 員 : 300 名
- ◆ 申込方法 : ホームページ (<http://www.bcao.org/>) を参照してください。
- ◆ 表彰式および発表会 (予定) :
  - 13:30~13:35 「挨拶」  
堀越 繁明 / 特定非営利活動法人事業継続推進機構 理事長
  - 13:35~13:45 「選考説明・受賞者発表」  
/ 特定非営利活動法人事業継続推進機構 担当役員
  - 13:45~14:00 「賞状授与」  
堀越 繁明 / 特定非営利活動法人事業継続推進機構 理事長
  - 14:00~14:10 「記念撮影」
  - 14:10~16:00 「各賞受賞者発表」

なお、BCAO のホームページで最新情報を確認の上、ご参加くださるよう、皆様のご協力とご理解をどうぞよろしく申し上げます。

問合せ先 : NPO 法人事業継続推進機構 事務局 細坪 (ほそつぼ)、平吾 (ひらご) TEL 03-5521-2235 FAX 03-3281-2181 <a href="mailto:bc@bcao.org">bc@bcao.org</a>
--

\*当日は報道受付を設けておりますが、混乱を避けるため事前に事務局宛にご連絡を頂ければ幸甚です。